



平成 24 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場会社名 東京都競馬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9672 URL <http://www.tokyotokeiba.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山口 一久  
 問合せ先責任者（役職名）財務部長（氏名）江口 真司 (TEL) 03 (5767) 9731  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成 24 年 12 月期第 3 四半期の連結業績（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	12,593	6.5	2,256	15.5	2,233	14.1	1,373	74.8
23年12月期第3四半期	11,819	△11.1	1,954	△23.7	1,957	△23.4	785	△54.3

（注）包括利益 24年12月期第3四半期 1,434百万円（100.5%） 23年12月期第3四半期 715百万円（－%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	4 80	—
23年12月期第3四半期	2 75	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	63,441	51,374	81.0
23年12月期	58,398	50,801	87.0

（参考）自己資本 24年12月期第3四半期 51,374百万円 23年12月期 50,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	1 50	—	1 50	3 00
24年12月期	—	1 50	—		
24年12月期（予想）				1 50	3 00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 12 月期の連結業績予想（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,472	8.7	2,348	9.2	2,298	6.1	1,443	98.0	5 05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期3Q	287,648,547株	23年12月期	287,648,547株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	1,721,195株	23年12月期	1,687,870株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期3Q	285,948,820株	23年12月期3Q	285,976,888株
-----------	--------------	-----------	--------------

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2～4「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
四半期連結損益計算書 .....	P. 7
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 9
(4) セグメント情報等 .....	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①業績の概要

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、将来にわたる安定収入の確保と危機管理体制の一層の強化を図るため、大井競馬場近隣（東京都大田区）に賃貸オフィスビル（新名称：ウィラ大森ビル）を取得し、同ビルへ本社を移転したほか、宮城県石巻市において新たにスイミングスクール施設の賃貸事業に取り組み、被災地の復興支援とともに収益基盤の拡充に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、東京サマーランドの夏季営業が順調に推移したことに加え、オフィスビル取得による賃貸料収入の増加、前期に竣工した勝島地区3号倉庫の通期稼働及び伊勢崎オートレースの開催日数や東京サマーランドの営業日数の増加などから、売上高は125億9千3百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は22億5千6百万円（同15.5%増）、経常利益は22億3千3百万円（同14.1%増）となり、四半期純利益は13億7千3百万円で、前年同期は災害による損失等の特別損失を計上したこともあり74.8%の増益となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中（夏季）に年間入場者の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。

#### ②事業別の概況

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

##### <売上高の内訳>

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	増減	増減比
競馬施設事業	5,419	5,579	160	3.0%
オートレース施設事業	314	360	46	14.7%
遊園地事業	2,462	2,767	305	12.4%
倉庫賃貸事業	2,525	2,706	180	7.2%
サービス事業	1,097	1,178	81	7.4%
合計	11,819	12,593	774	6.5%

（注）セグメント間取引については、相殺消去しております。

##### <営業利益の内訳>

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	増減	増減比
競馬施設事業	542	591	48	8.9%
オートレース施設事業	14	△41	△56	—
遊園地事業	160	281	121	76.0%
倉庫賃貸事業	1,729	1,857	127	7.4%
サービス事業	137	238	100	73.0%
調整額	△630	△669	△38	—
合計	1,954	2,256	302	15.5%

（注）当社は、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成22年6月30日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）におけるセグメント利益について、各セグメントの営業利益としております。

#### [競馬施設事業]

競馬施設事業におきましては、地方競馬全主催者が新たに構築する共同トータリゼータシステム（投票券発売等システム）の整備実施者として、各主催者及び関係団体と連携を図りながら、引き続き運用システムの構築に取り組み、着実に事業を推進いたしました。同システムは、昨年7月より順次稼働を開始し、9月末現在、大井競馬をはじめとする14主催者が新システムへの移行を完了させております。

また、在宅投票（SPAT4）システムにおいて、スマートフォン利用者の投票利便性向上に向けた改修を行ったほか、大井競馬場4号スタンド1階の休憩所をリニューアルし、大型モニターを設置するなど、より快適な投票環境の提供に努めました。

この間、大井競馬は74日開催され、大井競馬場外発売所（後樂園、汐留、ひたちなか、大郷、新潟他）及び在宅投票並びに南関東3競馬場（浦和、船橋、川崎）などの場外発売（広域場外を含む）を含めた投票券総売上高は651億8千3百万円でありました。前年同期と比べると、開催日数は同日数でしたが、本場入場者の減少等により投票券総売上高は2億6百万円減少いたしました。

また、大井場外発売は浦和競馬が34日、船橋競馬が43日、川崎競馬が49日実施されたほか、その他各地方競馬の広域大井場外発売につきましても、343レース実施されました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の競馬施設事業の売上高は、在宅投票の売上高が堅調に推移したことや附帯収入が増加したこと等により55億7千9百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は5億9千1百万円（同8.9%増）となりました。

#### [オートレース施設事業]

オートレース施設事業におきましては、伊勢崎オートレース場において、スタンド内のトイレ設備を改修するなど、環境美化に努めました。

また、4月の「SGオールスターオートレース」及び9月の「GIムーンライトチャンピオンカップ」において、ファミリー向け各種イベントやB級グルメの屋台村などを開催したほか、主催者及び関係団体と協力しモーターサイクルイベントを開催するなど、引き続き新規ファンの獲得とオートレース場の活性化に取り組みました。

この間、伊勢崎オートレースは72日開催され、川口オートレース他4場の場外発売等を含めた投票券総売上高は121億8千1百万円でありました。前年同期と比べると、開催日数が24日増加したこともあり、投票券総売上高は24億8千9百万円増加いたしました。

また、川口オートレース他4場の伊勢崎場外発売は延べ220日実施され、投票券売上高は52億3百万円となり、前年同期と比べると2千6百万円減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のオートレース施設事業の売上高は伊勢崎オートレースの開催日数の増加や賃貸借契約の見直し等により3億6千万円（前年同期比14.7%増）となりましたが、修理維持費等の増加により営業損失4千1百万円（前年同期は営業利益1千4百万円）を計上いたしました。

#### [遊園地事業]

遊園地事業におきましては、東京サマーランドにおいて、3月にアドベンチャードーム（屋内プールエリア）に新アトラクション「アドベンチャートレイン」を導入したほか、7月にはアドベンチャーラグーン（屋外プールエリア）に日本初登場となる新感覚のウォータースライド「dobon」を新設し、オープンに先立ち完成記念イベントを開催するなど、積極的なPR活動を展開いたしました。

また、5月26・27日の両日に、多摩地域の10市町村によるご当地グルメイベント「多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ」を開催し、多くのお客様にご来場いただき好評を博したほか、6月恒例の催しとなった「あじさい観賞」など、各種イベントを開催し集客に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の東京サマーランドの入場人員は86万人（前期比16.9%増）で、本館遊園地の営業日数が32日増加したことに加え、夏季期間の好天、「dobon」のオープンやテレビコマーシャルの効果などから、遊園地事業の売上高は27億6千7百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は2億8千1百万円（前年同期比76.0%増）となりました。

なお、被災地支援として、施設再建に取り組みました宮城県石巻市のスイミングスクール「スポーツアカデミー石巻」につきましては、5月に営業が再開いたしました。今後は同施設を活用し新たに子供たちの健康作りと体力向上を支援する活動にも取り組んでまいります。

## 〔倉庫賃貸事業〕

倉庫賃貸事業におきましては、顧客の物流コスト削減や在庫圧縮の動きに加え、事業者間の価格競争激化により賃料相場の下落が続くなど、事業環境は依然として厳しい状況におかれましては。

この間、昨年10月に稼働を開始した勝島地区3号倉庫の円滑な運営管理に取り組むとともに、勝島地区1号倉庫のエレベーター改修をはじめ、各施設の整備を実施するなど顧客サービスの向上に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の倉庫賃貸事業の売上高は勝島地区3号倉庫の通期稼働に伴う賃料収入の増加等により27億6百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は18億5千7百万円（同7.4%増）となりました。

## 〔サービス事業〕

サービス事業におきましては、5月にJR大森駅に隣接する賃貸オフィスビル（新名称：ウィラ大森ビル）を取得し、事業部門の強化と収益基盤の拡大を図ったほか、「大井競馬場前ショッピングモールウィラ大井」において、各テナントと協力し、地域住民の皆様のニーズに合わせたきめ細かなサービスを提供するとともに、昨年に引き続き「ウィラ大井サマーフェスタ」を開催し集客向上に努めました。

また、コイン洗車場「カーウォッシュ大井」において、新たに最新型全自動ブラシ洗車機を導入し、期間限定の半額キャンペーンを実施したほか、賃貸マンション、賃貸レストラン、コンビニエンスストア、トランクルーム等につきましても、一層の効率的な運営を図り、安定的な収益確保に努力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のサービス事業の売上高はオフィスビル取得による賃料収入の増加等により11億7千8百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は2億3千8百万円（同73.0%増）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ50億4千2百万円増加し、634億4千1百万円となりました。これは、営業未収入金が11億6百万円減少したのに対し、有価証券が12億円、オフィスビル取得に伴い有形固定資産が26億7千万円、競馬施設事業における地方競馬共同トータリゼータシステム構築事業に係る長期立替金が19億2千3百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ44億6千9百万円増加し、120億6千6百万円となりました。これは、長期借入金の返済額7億円の支払いなどに対し、50億円の社債の発行による増加が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ5億7千2百万円増加し、513億7千4百万円となりました。これは、四半期純利益を13億7千3百万円計上したことに対し、期末配当金及び当期中間配当金8億5千7百万円により、利益剰余金が5億1千5百万円増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の87.0%から81.0%となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第3四半期の業績がおおむね計画通り推移しており、平成24年2月17日発表の数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,650,807	5,152,415
営業未収入金	2,798,196	1,691,866
有価証券	1,012,232	2,212,791
たな卸資産	60,389	65,525
繰延税金資産	106,648	150,621
その他	247,844	178,836
貸倒引当金	—	△4,358
流動資産合計	8,876,119	9,447,698
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	21,861,536	21,300,639
建物附属設備（純額）	5,491,592	5,222,301
構築物（純額）	7,335,138	6,936,947
機械装置及び運搬具（純額）	1,687,955	1,390,695
土地	10,262,038	10,262,038
信託建物（純額）	—	1,861,576
信託建物附属設備（純額）	—	192,618
信託土地	—	2,174,126
その他（純額）	361,310	329,390
有形固定資産合計	46,999,573	49,670,333
無形固定資産		
ソフトウェア	531,378	393,828
施設利用権	39,237	34,786
その他	11,927	11,927
無形固定資産合計	582,542	440,542
投資その他の資産		
投資有価証券	944,905	1,036,137
長期前払費用	132,038	124,570
繰延税金資産	741,678	679,554
長期立替金	18,085	1,941,357
その他	104,033	100,854
投資その他の資産合計	1,940,741	3,882,476
固定資産合計	49,522,857	53,993,351
資産合計	58,398,976	63,441,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	315,266	532,795
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	950,000
未払金	327,550	106,750
未払法人税等	591,546	601,975
未払消費税等	68,891	129,543
賞与引当金	39,500	107,572
その他	425,817	384,296
流動負債合計	2,768,572	2,812,932
固定負債		
社債	—	5,000,000
長期借入金	925,000	225,000
長期預り金	1,737,233	1,923,181
繰延税金負債	409	—
退職給付引当金	1,560,819	1,462,560
役員退職慰労引当金	200,065	199,995
資産除去債務	405,001	424,758
その他	—	17,934
固定負債合計	4,828,528	9,253,429
負債合計	7,597,100	12,066,362
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	33,661,161	34,176,416
自己株式	△330,354	△334,174
株主資本合計	50,774,772	51,286,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,103	88,481
その他の包括利益累計額合計	27,103	88,481
純資産合計	50,801,875	51,374,688
負債純資産合計	58,398,976	63,441,050



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	11,819,455	12,593,485
売上原価	8,874,271	9,313,146
売上総利益	2,945,184	3,280,339
一般管理費	991,183	1,023,930
営業利益	1,954,000	2,256,408
営業外収益		
受取利息	5,595	3,967
受取配当金	16,250	10,155
線下補償料	12,117	12,117
除斥配当金受入益	3,138	12,540
その他	10,745	15,221
営業外収益合計	47,847	54,001
営業外費用		
支払利息	42,226	39,710
社債発行費	—	33,670
その他	1,731	4,005
営業外費用合計	43,958	77,387
経常利益	1,957,890	2,233,022
特別利益		
移転補償金	—	62,720
特別利益合計	—	62,720
特別損失		
固定資産除却損	—	17,905
固定資産処分損	—	19,224
災害による損失	263,694	—
投資有価証券評価損	183,588	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	123,365	—
その他	16,556	—
特別損失合計	587,204	37,129
税金等調整前四半期純利益	1,370,685	2,258,612
法人税、住民税及び事業税	690,307	897,602
法人税等調整額	△105,296	△12,103
法人税等合計	585,010	885,498
少数株主損益調整前四半期純利益	785,674	1,373,114
四半期純利益	785,674	1,373,114

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	785,674	1,373,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,102	61,377
その他の包括利益合計	△70,102	61,377
四半期包括利益	715,571	1,434,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	715,571	1,434,491
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	競馬施設 事業	オートレース 施設事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売 上 高								
外部顧客への売上高	5,419,723	314,583	2,462,015	2,525,872	1,097,260	11,819,455	—	11,819,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,158	—	372	—	13,170	15,701	△15,701	—
計	5,421,882	314,583	2,462,388	2,525,872	1,110,430	11,835,157	△15,701	11,819,455
セグメント利益	542,932	14,285	160,018	1,729,805	137,613	2,584,655	△630,654	1,954,000

(注) 1. セグメント利益の調整額△630,654千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	競馬施設 事業	オートレース 施設事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売 上 高								
外部顧客への売上高	5,579,777	360,740	2,767,978	2,706,478	1,178,510	12,593,485	—	12,593,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,462	—	95	1,856	19,765	24,179	△24,179	—
計	5,582,239	360,740	2,768,074	2,708,334	1,198,276	12,617,664	△24,179	12,593,485
セグメント利益又は セグメント損失(△)	591,116	△41,997	281,668	1,857,052	238,041	2,925,881	△669,473	2,256,408

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△669,473千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。